

## 論文概要

東京医療保健大学  
医療情報学科  
学籍番号 H08004  
氏名 新井由美代

### 股関節疾患を持つ患者の QOL 測定（JHEQ スコアと JOA スコアの比較）

本研究では、神奈川県内の某クリニックに通う股関節疾患を有する患者 68 人を対象に、日本整形外科学会診断・評価等基準委員会股関節小委員会が新しく作成した JHEQ を既存の日本整形外科学会股関節機能判定基準である JOA hip score (JOA) と比較し、JHEQ スコアの性質を評価することを目的とする。

JHEQ スコアは、痛み、動作、メンタルの 3 つの項目からなり、各項目は 7 つの質問によって構成されている。各質問に患者が回答し、その内容に応じて 0 点から 4 点が付与され、84 点満点で股関節の状態が患者によって評価される。

一方、JOA スコアは股関節疾患をもつ患者の股関節の状態を評価する方法として、既に日本で広く普及している。疼痛、可動域（屈曲・伸展、外転・内転）、歩行能力、日常生活動作の 4 つの項目からなり、左右それぞれ 100 点満点で医師が評価する。

本研究では、JHEQ スコアと JOA スコアの 2 つの評価方法の関連を明らかにするために、股関節疾患の治療で手術を行った患者を対象に、術前と退院時のそれぞれにおいて JHEQ スコアと JOA スコア、股関節の状態に対する満足度を測定した。測定された各スコアに対して相関分析を実施した。なお、データ処理・分析にはエクセルおよび JMP8.0 を用いた。

術前と退院時の満足度と JHEQ スコアの各項目の関連を分析した結果、術前、退院時ともにいずれの項目も相関が強く、また、術前と退院時で相関係数の数値がそれほど変化しなかった。満足度と JHEQ スコアは同時に測定され、更に両方とも患者が評価していることから、前述のような結果が得られるのは当然のことなのかもしれない。

一方、術前の満足度と術前の JOA スコアの各項目との関連をみると、満足度と JOA スコアの疼痛との相関は強いが、他の 4 項目の相関は弱かった。また、退院時の満足度と退院時の JOA スコアの各項目の関係は、どの項目についても相関が弱い結果となった。満足度は患者が評価し、JOA スコアは医師による評価であるため、特に退院時においてはズレが生じたのだと考えられる。

## 目次

第1章	はじめに	P1
第2章	目的	P2
第3章	研究に使用するアンケート用紙の説明	
	3.1 JHEQ スコア	P3
	3.2 JOA スコア	P3
第4章	研究方法	
	4.1 分析用のデータ作成と記述統計量の算出	P4
	4.2 相関分析について	P4
第5章	研究結果	
	5.1 分析対象者の概要	P5～P6
	5.2 相関分析の結果	P7～P8
第6章	考察	P9
第7章	謝辞	P10
第8章	参考文献	P11

## 付録

日本整形外科学会股関節疾患評価質問表 (JHEQ)

日本整形外科学会股関節機能判定基準 (JOA)